

牛群検定通信 No61

◇ 都府県分娩間隔は3年連続で446日を維持 ◇

平成26年の牛群検定のとりまとめ「速報」が発行されましたので、その概況をお知らせします。お手元の検定成績表と比較してみてください。

【1 305日乳量（立会）】

ホルスタイン立会検定の平均は以下のとおりでした。

	乳量 k g (昨年差)	乳脂肪率	蛋白質率	S N F	濃厚飼料 k g
北海道	9 3 4 0 (- 4 3)	3 . 9 7	3 . 2 6	8 . 7 6	3 3 1 9 (- 6)
都府県	9 4 6 5 (+ 1 3)	3 . 8 2	3 . 2 5	8 . 7 3	3 7 8 3 (- 1 0)
全 国	9 3 8 2 (- 2 4)	3 . 9 2	3 . 2 6	8 . 7 5	3 4 7 7 (- 6)

北海道と都府県ともに濃厚飼料給与量が僅かに減少しましたが、都府県は乳量を僅かに増大させ、北海道は減少となりました。

【2 305日乳量（自動搾乳 ロボット）】

	乳量 k g (昨年差)	乳脂肪率	蛋白質率	S N F	濃厚飼料 k g
北海道	9 9 8 5 (+ 1 4 8)	3 . 8 4	3 . 2 5	8 . 7 8	3 4 3 4
都府県	1 0 0 6 8 (+ 1 8 0)	3 . 7 5	3 . 2 9	8 . 8 1	3 4 6 5
全 国	1 0 0 0 7 (+ 1 5 7)	3 . 8 2	3 . 2 6	8 . 7 9	3 4 4 3

自動搾乳においては、乳量の伸びが100kgを越えて著しく増加。自動搾乳は多回搾乳なので一概に通常の2回搾乳と比較出来ませんが、都府県の自動搾乳の305日平均がはじめて1万kgを突破しました。

【3 分娩間隔など】

	分娩間隔（昨年差）	乾乳日数	搾乳日数
北海道	429日（-3）	66	364
都府県	446日（±0）	65	382
全国	435日（-2）	66	370

北海道において-3日と大きく改善しました。都府県においては北海道と比較すれば長期化していることとなりますが、平成24年に-3日改善し446日となり、その後3年連続で446日を維持しており、改善傾向を見ることができます。

【4 実施状況】

	検定戸数（昨年差）	検定頭数（昨年差）
北海道	4477（-122）	347,909（-1636）
都府県	4144（-173）	190,887（-2434）
全国	8621（-295）	538,796（-4070）

農家の減少が継続しています。検定費用が6カ月間無料となるお試し検定を本年も行っていますので、お知り合いの農家にご紹介ください。